

玉入れ競技要領

別紙

(1) 実施方法

東京体育館のメイン会場とリモート参加の施設会場で同時に実施する。

メイン会場は主催者が、施設会場は施設担当者が、人数が均等になるよう、紅・白に組分けする。

メイン会場のスタートの合図で投げ始め、終わりの合図で投げるのを止める。

(2) 競技時間・回数

30秒を2回行う。

(3) カゴの設置

メイン会場：紅白各3基

参加選手の身長等を考慮して1基を低めに調整することを考慮する。

施設会場：カゴの代用品として、逆さにした傘を使用する。

玉入れ用のカゴを用意できる施設では、カゴの使用でも構わない。

紅白の数は、施設での参加人数に応じて、施設で決定する。

カゴの数、高さは、参加選手の人数、身長に応じて施設で決定する

(但し、紅白のカゴの高さに著しい差が無いよう注意する)。

(4) 集計

メイン会場：司会者の声に合わせて、各組のカゴに入った玉を数え、勝敗を決める。

司会者が、勝った方の色のタオル(参加賞)を掲げる。

施設会場：施設職員が数え、勝敗を決める。

勝った方の色のタオルをWEBカメラに写し、結果をメイン会場に伝える。

メイン会場の大型スクリーンで各施設の映像を映し、司会者が紅白の数を数える。

(5) 最終採点方法

メイン会場と施設会場の勝った方に1点を与える(メイン会場1点、各施設会場1点)。

得点数で勝敗を決める。

カゴに入った玉の数は、得点には関係しない。

(例)

	勝敗	紅組得点	白組得点
メイン会場	紅組	1	
施設会場A	白組		1
施設会場B	紅組	1	
施設会場C	紅組	1	
施設会場D	紅組	1	
施設会場E	白組		1
最終集計	紅組	4	2

※例では、メイン会場と5施設会場で集計 / 開催時は、メイン会場と参加施設会場で集計